

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025年2月27日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	五洋海運株式会社
所在地	〒455-0032 名古屋市港区入船一丁目7番40号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 安藤 幹雄
担当者連絡先	電話：052-653-5411 メール：aoki@gkk.co.jp
ウェブサイトURL	www.goyokaiun.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は昭和24年に創業し名古屋港において港湾運送事業、通関業、船舶代理店業を展開しております。海外においても自社の拠点があるタイをはじめ世界各国にネットワークを持ち国際複合一貫輸送体制を構築しております。また、平成27年にはAE0認定通関事業者としての認定、令和4年にはAE0特定保税承認者としての承認を受け、コンプライアンス遵守と貨物のセキュリティー管理の徹底に努めております。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	デジタル化による紙資源の削減。ハイブリッド車の導入によるCO2排出量削減。	ソフトウェア導入の2023年度比で紙資源使用量の30%削減。ガソリン使用量削減によるCO2排出量10%削減。
□環境 ✓社会 □経済	子育て支援。職場環境改善。	女性の育児休業取得率80%以上を保持。男性育児休業取得率10%。子育て支援サポート「くるみん」の認定を目指す。
□環境 ✓社会 ✓経済	各種団体への募金や寄付活動。地域のイベントへの協賛。地域活性化を目指し社屋へのウインターイルミネーションの実施。	募金や寄付活動の継続。地域活性化のための活動の継続。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	就業規則で人権を尊重し、国籍、信条、性別などによる差別を禁止している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則にハラスメント禁止を明記している。社長によるハラスメント等防止宣言を社内掲示板に掲載している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	管理部門及び各部門長にておいて労働時間を把握している。業務量増加により長時間労働が継続的に発生する場合は、他部署からの応援等で長時間労働が常態化しないよう努めている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	就業規則で人権を尊重し、国籍、信条、性別などによる差別を禁止している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会を設置し、事故が発生した場合は、事故の詳細を報告し対策を検討している。また、グループ会社や他社での事故発生事例の報告や衛生に関する注意事項等を公表している。		3						8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	従業員へのストレスチェックを実施し、要面談者で希望する者には産業医との面談を実施している。第三者機関の電話相談窓口を設置している。		3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	柔軟な働き方ができるようテレワーク制度や時差出勤制度を実施している。				5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	階層別研修、通関士講習、IT教育等教育訓練、安全運転講習等の機会を提供している。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	給与規程を整備し職種や職階に応じて公正に処遇している。				5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	全従業員を対象とした年に1度の健康診断の実施に加え、毎年30歳、35歳、40歳以上の従業員には人間ドックを実施している。また、健康診断の結果に基づいて再検査を実施するなど健康経営に取り組んでいる。		3						8									
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	デジタル化を推進し、紙の使用量削減に努めている。ごみの分別を徹底している。											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	自社倉庫の照明をLED化し、使用電力の削減に取り組んでいる。							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	デジタル化を推進し、紙の使用量削減に努めている。ハイブリッド車の導入しCO2排出量の削減に取り組んでいる。						7.2 7.3				12.4	13.3						

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4				
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6								15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6				
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	紙の使用量の削減、ハイブリッド車の導入によるガソリンの使用量削減に努めている。											12.2	13	14	15		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	AEO認定事業者としての認定、AEO特定保税者承認を受けコンプライアンス遵守、貨物のセキュリティ管理の徹底に努めている。		3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地域活性化を目指し冬季は社屋にウインターイルミネーションを実施している。				4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	各種団体への寄付や募金、地域のイベントへの協賛を行っている。				4							11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している								8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	社内掲示板にて周知をしている。								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	就業規則に反社会的勢力の排除等法令順守について明記している。また、内部統制監査を毎年実施している。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	寄付や募金を通して地域活性化に取り組んでいる。環境に配慮した活動として消費電力の削減やCO2削減に取り組んでいる。															16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。